

みなと海鮮朝市の 定食新メニュー試食会



試食会で出されたみなと海鮮朝市定食

小松島みなと交流センターkocoloで9月13日、みなと海鮮朝市で販売される定食の試食会が開かれ、関係者らが9月の新メニュー「ハモのたたき丼」定食を試食しました。

みなと海鮮朝市は毎月第4土曜にkocoloで開催され、旬の新鮮な魚などが販売されています。10月の開催は22日(土)の午前8時30分から正午(売り切れ次第終了)まで、定食メニューは、タイ、タチウオ、カマス、エビなどが入った海鮮丼(予約が必要)を予定しています。みなと海鮮朝市定食の予約は、NPO法人港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま(☎33・0302)まで。

和田島漁業協同組合女性部食堂 「網元や」オープンに向けて試食会



しらすかまあげ丼を味わう試食会の参加者

和田島漁業協同組合女性部が元しらす加工場を改装し、開店をめざす食堂「網元や」(和田島町字遠見)で9月12日、試食会が開かれ、関係者ら約20名が参加しました。

試食会では、新鮮な和田島ちりめんを使った「しらすかまあげ丼」や生しらすでだしをとった「しらすすまし汁」などが振る舞われました。

「網元や」は、10月30日に開店する予定(毎週日曜の午前10時から午後2時まで営業)で、和田島漁業協同組合の女性部員が調理や接客を行います。詳しくは、和田島漁業協同組合(☎37・1621)まで。

地域福祉の課題などについて意見交換



グループで意見交換を行う参加者

「第1回小松島市の地域福祉を考えるワークショップ」が8月30日から9月1日までの3日間、市総合福祉センターで開催され、計74名の市民が参加しました。

このワークショップは、市社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」に市民の意見を反映させることを目的に行われたものです。参加者は、市内11校区に分かれグループとなり、地域の良い点や改善したい点などについて活発に話し合っていました。

市社会福祉協議会は、第2回目のワークショップ(9月27日~29日開催)で出された意見やアイデアなども踏まえ、地域福祉活動計画を今年度中に策定する予定です。

いつまでもお元気で 敬老の日に慶祝訪問



市内最高齢の坂田ミノリさん(写真前列中央)

敬老の日の9月19日、101歳以上の市民の方々を対象に、濱田市長らが慶祝訪問を行い、祝い状や記念品を贈り長寿をお祝いしました。今年めでたく101歳以上を迎えられ、広報こまつしまに掲載を了承されたのは次の方々です。(年齢は9月19日現在)

【108歳】坂田ミノリさん

【104歳】松富クニエさん

【102歳】湯浅喜美子さん、立石ハルエさん、山本シズエさん、織田光子さん、勝瀬勇さん、澤本タケノさん

【101歳】大和モトエさん、藤谷フクエさん、埴淵富江さん、明槻初子さん、田井カキエさん、手束シツエさん、山本トミヨさん、坂田繁子さん